

仮称★小柴博士の科学と自然の散歩みち

第3号 平成15年10月



NEWS

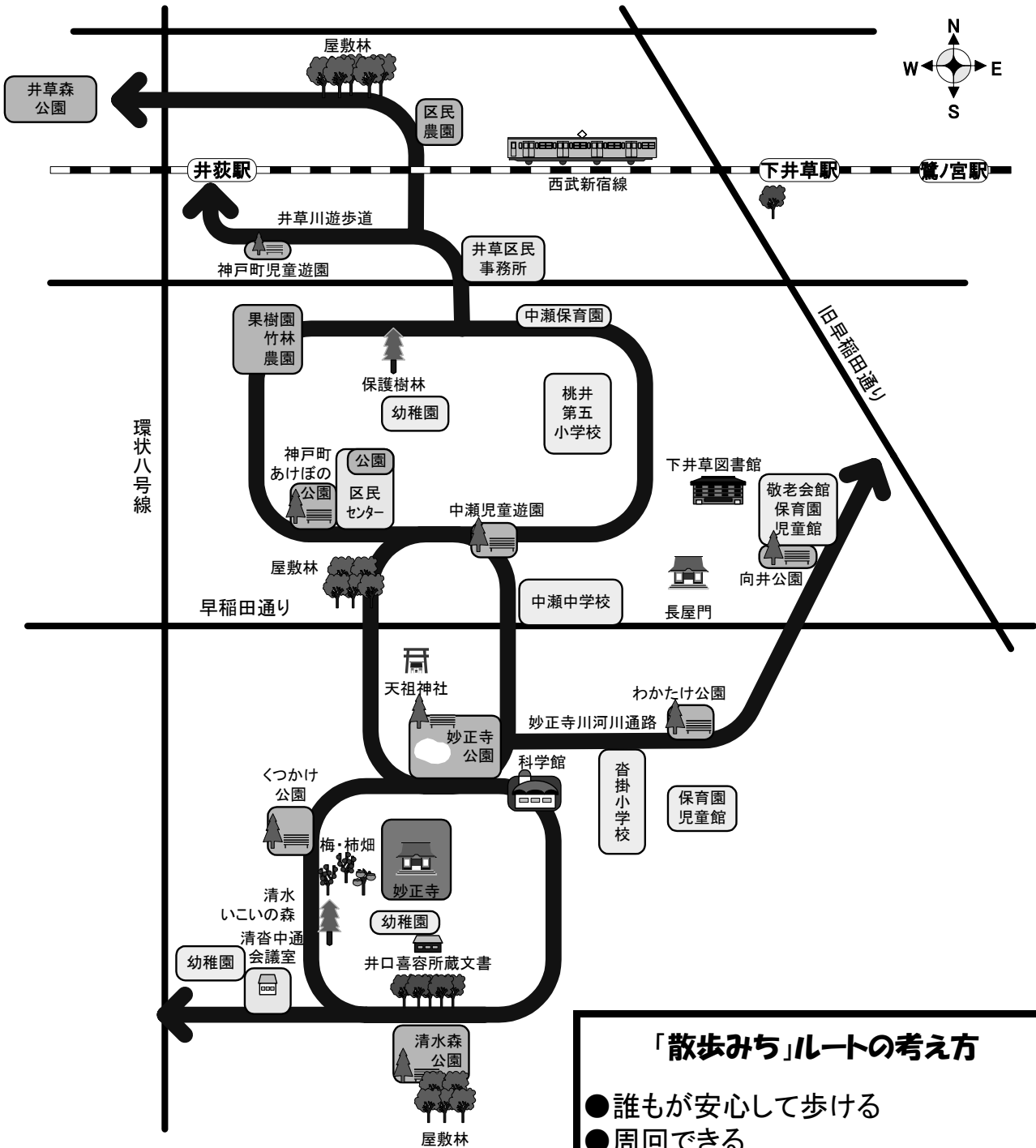
第3回、第4回懇談会が開催されました

(仮称)「小柴博士の科学と自然の散歩みち」を検討する第3、4回目の懇談会が7月10日と9月16日に開催されました。その中では、「散歩みち」のルート、「地域の方々が親しめる散歩みちにするためには」などについて、以下のような意見が交わされました。

【懇談会での主な討議内容】

散歩みちのルート案について ※うら面をご覧ください	<ul style="list-style-type: none">●メインルートは、井草川遊歩道、妙正寺川河川通路、水路敷など歩行者の安全性の高い道をつないだルートとする。●メインルートから周辺の施設に向かう安全性の高い道もルートとしていく。
地域の方々が親しめる散歩みちにするためには	<ul style="list-style-type: none">●将来まで残すためには常にきれいにしていることが必要である。●小・中学校の生徒や町会・地域団体に、清掃や日常の点検などを行うことはできる。●小・中学校の生徒は、植物を育てることで自然の学習だけでなく心の教育にもなるので、植栽（花壇等）に協力したい。●学校では、清掃活動・花壇の他、子どもの作品展示等が考えられる。●中学校の生徒たちは、整備する段階から参加し、運営していくことが可能である。●高齢者団体も、場所さえ有れば植栽（花壇等）をしたいと思っている。●ルート沿道の住民・学校・地域団体などが区と協力して散歩みちを管理するためのルール作りが必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none">●町名の由来などの歴史的な情報が活用できるのではないか。●井草川遊歩道は蛇行しているので、一般の道に出たときに方向が分からなくなる。案内板を充実した方がよい。●子ども達の安全性や空き缶・吸い殻のポイ捨てにも配慮する。

「散歩みち」のルート案を検討しています



- 「散歩みち」ルートの考え方**
- 誰もが安心して歩ける
 - 周回できる
 - 緑の連続性が保てる
 - 地域の資源(施設)をつなぐ
 - 地域の方や子供たちが活用できる

※地図には、メインルートを太線で示しています。

＜事務局＞
 杉並区 都市整備部 建設課 石塚・村松・酒井
 TEL 3312-2111 内線 3425・3426

